

環境問題に関する意識と行動:2024 年全国調査

単純集計結果

※集計結果は2ページ目からの選択肢枠の中などに
表記しています。

2024年1月
調査企画:生活環境研究会
代表者:小松 洋
(松山大学人文学部教授)
調査実施:一般社団法人 中央調査社

◆回答をお願いしたい方について

この調査では、回答者お一人お一人の日々の行動やお考えをお聞きます。必ず、この調査票をお送りした封筒の宛名の方がお答えください。

◆回収について

ご記入いただいた調査票は、下記の回収期間に、中央調査社の調査員がお宅に伺いますので、お渡しください。疑問などありましたら、中央調査社 管理部 フリーダイヤル 0120-48-5351 までお電話ください。

回収期間:1月19日(金)から2月12日(月)

一部、1月末ころから実施した地域もあります。

記入上の注意

- この調査は試験やクイズではありませんから、正しい答えや誤った答えがあるわけではありません。あなた自身のお考えをありのままに記入してください。
- どうしても答えたくない質問、わからない質問は、無理にお答えいただかなくてもかまいません。
- 答えにくい質問などがありましたら、感想や意見を欄外に遠慮なく御記入ください。
- 答えの欄が一重の枠 で囲まれている質問では、枠内の選択肢の中から当てはまるものを 1つ選び、その番号を○で囲んでください。
- 答えの欄が二重の枠 で囲まれている質問では、枠内の選択肢の中から当てはまるものを すべて選び、その番号を○で囲んでください。
- 数字や番号・具体例などを枠内に記入していただく質問については、なるべく詳しく、明確に記入してください。枠内に書ききれない場合には、欄外にご記入ください。
- 筆記具は、何でもかまいませんが、必ず黒色のものをお使いください。また、お答えを訂正するときには、前の答えをしっかりと消すか、×をつけるなどして、訂正したことをはっきりと示してください。
- 用紙の欄外の①②などの記号はコンピューターで処理するときの記号ですので、お気になさらずにお答えください。

※ nの表示のない設問は 831 人を基数とする。

問1 お住まいの地域以外でのものも含めて、あなたは、次にあげる活動をよくしていますか。それともあまりしていませんか。それぞれについて、もっとも近いものを1～4の中から1つ選んで、右枠内の番号に○をつけてください。

	よく している	ときどき している	あまり していない	まったく していない	無回答
A 自治会や町内会などの地元での活動	10.3%	22.6%	22.7%	43.8%	0.5%
B 趣味やスポーツなどのクラブ・サークル活動	12.3%	13.6%	16.5%	57.0%	0.6%
C ボランティア、NPO、市民活動	3.0%	8.4%	16.8%	70.9%	0.8%

問2 今後10年の日本のことを考えたとき、以下の問題はどのくらい重要だと思いますか。それぞれについて、当てはまるものを1～4の中から1つ選んで、右枠内の番号に○をつけてください。

	非常に重要で ある	やや重要で ある	あまり重要 ではない	まったく重要 ではない	無回答
A 医療・福祉問題	75.6%	21.3%	1.7%	0.7%	0.7%
B 教育問題	54.5%	39.1%	4.1%	1.3%	1.0%
C 治安問題	46.5%	42.2%	9.3%	1.4%	0.6%
D 環境問題	61.6%	30.3%	5.8%	0.8%	1.4%
E 移民問題	22.0%	43.8%	29.5%	3.0%	1.7%
F 経済問題	65.9%	29.2%	3.5%	0.6%	0.7%
G 貧困問題	43.3%	43.0%	11.8%	1.2%	0.7%
H 労働問題	50.9%	39.2%	7.9%	1.0%	1.0%
I 防衛問題	45.6%	39.8%	12.0%	1.8%	0.7%

問3 環境にかかわる問題のなかで、次のことがらはどのくらい重大な問題でしょうか。それぞれについて、当てはまるものを1～4の中から1つ選んで、右枠内の番号に○をつけてください。

	非常に重大で ある	やや重大で ある	あまり重大 ではない	まったく重大 ではない	無回答
A 大気汚染	54.2%	35.6%	8.2%	1.4%	0.6%
B 化学薬品や農薬による中毒や汚染	41.6%	45.0%	11.1%	1.4%	0.8%
C 水質汚染	52.2%	38.9%	7.1%	1.2%	0.6%
D 放射性廃棄物	55.6%	32.3%	9.3%	2.0%	0.8%
E 家庭から排出されるごみの処理	37.7%	50.4%	9.6%	1.8%	0.5%
F 地球温暖化	68.1%	22.9%	5.9%	2.3%	0.8%
G 天然資源の枯渇	47.2%	41.2%	8.5%	2.0%	1.1%
H マイクロプラスチック問題	40.6%	44.5%	12.4%	1.7%	0.8%

※ nの表示のない設問は 831 人を基数とする。

問 4 暮らしと環境について次のような意見があります。それぞれについて、あなたのお考えにもっとも近いものを1～4の中から1つ選んで、右枠内の番号に○をつけてください。

	どちらか さう思う	どちらか いえば さう思う	どちらか いえば さう思わない	さうは 思わない	無回答
A 環境問題は、自分の住んでいる自治体にとって、非常に深刻な問題である	15.2%	45.0%	32.1%	7.2%	0.5%
B 環境の悪化で生活に差し障りが生じるとしても、かなり先のことである	8.5%	35.6%	31.2%	23.8%	0.8%
C 環境保全に役立つのなら、そのための費用が今より増えてもかまわない	12.0%	44.2%	31.0%	11.8%	1.0%
D 環境保全に役立つのなら、そのための手間が今より増えてもかまわない	15.2%	55.4%	21.9%	6.7%	0.8%
E できるだけ環境に負荷を与えない生活をしたい	40.1%	53.8%	4.5%	1.6%	0.1%

問 5 ごみや不用品の処理には、以下のようないろいろな方法があります。

	A ペット ボトル ↓	B 牛乳 パック ↓	C 衣類 ↓	D 小型 家電 ↓
1 家庭ごみ（家庭から排出されるごみから粗大ごみや資源ごみを除いたもの）として、自治体の収集に出す	14.8%	39.1%	37.1%	16.7%
2 資源ごみとして、自治体の収集に出す	48.7%	17.1%	20.6%	19.7%
3 地域（町内会や子ども会）の集団資源回収に出す	2.2%	4.3%	5.1%	2.8%
4 スーパーや専門店などの店頭回収に出す	22.4%	22.7%	3.1%	8.9%
5 リサイクルショップ、NPO などに持っていく	0.1%	0.1%	14.9%	7.1%
6 自治体の資源回収拠点に出す	5.9%	4.0%	6.9%	27.9%
7 その他	0.8%	2.6%	3.6%	5.9%
8 家族がやっているのわからない	2.0%	2.5%	4.5%	5.9%
9 購入していない	0.5%	4.6%	0.2%	0.8%
複数回答	1.1%	0.5%	2.2%	1.2%
無回答	1.4%	2.4%	1.9%	3.0%

あなたのご家庭では、次にあげるものを普段どのように出していますか。それぞれについて、最もよく利用している処理方法を上の表から1つ選んで、下の枠内に番号を記入してください。「その他」の場合には、下の枠内に7と書いて、その後に具体的な内容をご記入ください（枠内に収まらない場合には、枠外の余白にご記入ください）。

A ペットボトル	<input type="text"/>	C 衣類	<input type="text"/>
B 牛乳パック	<input type="text"/>	D 小型家電	<input type="text"/>

※ nの表示のない設問は 831 人を基数とする。

問 6 環境問題に対する国の取り組みについては、さまざまな意見があります。それぞれについて、あなたのお考えにもっとも近いものを1～4の中から1つ選んで、右枠内の番号に○をつけてください。

	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そうは 思わない	無回答
A 国は、環境問題にきちんと取り組んでいる	3.4%	42.6%	39.7%	11.9%	2.4%
B 環境政策のための費用によって 国の財政は圧迫されている	3.9%	20.3%	53.4%	18.5%	3.9%
C 国の環境政策は、国民に多くの労力を 求める制度である	5.4%	28.3%	49.2%	13.5%	3.6%
D 国の環境政策は、優れた制度である	3.0%	28.3%	47.2%	17.2%	4.3%
E 国は、環境のために税金を適切に 使っている	2.0%	21.2%	45.7%	27.2%	3.9%

問 7 お住まいになっている自治体（市区町村）が行っている環境問題への取り組みについては、さまざまな意見があります。それぞれについて、あなたのお考えにもっとも近いものを1～4の中から1つ選んで、右枠内の番号に○をつけてください。

	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そうは 思わない	無回答
A 自分が住んでいる自治体は、環境問題に きちんと取り組んでいる	9.7%	59.8%	22.5%	5.3%	2.6%
B 環境問題にかかる費用のために、自分が 住んでいる自治体の財政は圧迫されている	1.8%	12.9%	63.1%	17.7%	4.6%
C 自分が住んでいる自治体の環境政策は、 住民に多くの労力を求める制度である	3.4%	15.5%	59.7%	18.1%	3.4%
D 自分が住んでいる自治体の環境政策は、 優れた制度である	3.0%	42.4%	38.7%	9.6%	6.3%
E 自分が住んでいる自治体は、環境のために 税金を適切に使っている	3.1%	43.7%	36.0%	10.5%	6.7%

※ nの表示のない設問は 831 人を基数とする。

問 8 あなたは次のような意見についてどう思いますか。あなたのお考えにもっとも近いものを 1～4の中から1つ選んで、右枠内の番号に○をつけてください。

	どちらかと いえば そう思う	どちらかと いえば そう思わない	そうは 思わない	無回答	
A 自分のごみの減量や分別をすることは、 ごみ問題の解決に役立つ	51.4%	42.6%	4.0%	1.6%	0.5%
B 自分がエネルギーの節約をすることは、 地球温暖化問題の解決に役立つ	39.8%	46.1%	10.0%	3.2%	0.8%
C 自分が公共交通（電車、バスなど）を利用 することは地球温暖化問題の解決に役立つ	22.1%	45.7%	21.2%	9.1%	1.8%

問 9 環境問題について次のような意見があります。それぞれについて、あなたのお考えにもっとも近いものを1～4の中から1つ選んで、右枠内の番号に○をつけてください。

	どちらかと いえば そう思う	どちらかと いえば そう思わない	そうは 思わない	無回答	
A 私たちが今と同じ生活習慣を続けている と、環境問題は深刻になる一方である	32.7%	46.3%	15.6%	3.2%	2.0%
B 環境問題は、実際はそれほど深刻な 問題ではない	2.9%	10.1%	35.5%	50.2%	1.3%
C 環境保護のためにできることは、進んで やりたい	23.1%	60.9%	11.3%	3.1%	1.6%
D 税金が多少高くなるろうとも、国は環境 を守るためにお金をかけたほうがいい	11.0%	41.5%	33.8%	11.9%	1.8%
E 国は環境問題に関する情報を国民に 分かりやすい形で提供していない	34.1%	46.2%	13.5%	4.6%	1.7%

問 10 あなたがお住まいの地域では、今後、次のような問題により、どのくらい影響を受ける可能性があると思いますか。それぞれについて、あなたのお考えにもっとも近いものを1～4の中から1つ選んで、右枠内の番号に○をつけてください。

	かなり 影響がある と思う	やや 影響がある と思う	あまり 影響がない と思う	まったく 影響がない と思う	無回答
A 大気汚染（工場からの排煙や黄砂による 影響など）	14.8%	37.9%	40.7%	5.2%	1.4%
B 水質汚染（生活排水や産業排水による 水道水の汚染など）	14.9%	37.1%	41.5%	5.2%	1.3%
C 異常気象（暴風雨や水不足、洪水、熱波、 寒波など）	36.7%	40.7%	19.1%	2.2%	1.3%
D 放射性物質による汚染	12.6%	25.4%	44.2%	16.1%	1.7%

※ nの表示のない設問は831人を基数とする。

問11 全国では、どれくらいの方がごみの減量や温暖化防止の対策を実行していると思いますか。
誰も実行していない場合を0（ゼロ）割、みんなが実行している場合を10割として、以下のそれぞれの空欄に0から10までの数字をご記入ください。

ごみの減量						温暖化防止の対応					
[] 割くらい						[] 割くらい					
(ごみの減量)						(温暖化防止)					
0割	1割	2割	3割	4割	5割	0割	1割	2割	3割	4割	5割
1.1%	5.5%	9.5%	16.7%	13.2%	24.1%	2.5%	9.4%	17.3%	22.0%	11.4%	20.2%
6割	7割	8割	9割	10割	無回答	6割	7割	8割	9割	10割	無回答
11.4%	7.0%	5.7%	0.7%	1.2%	3.9%	7.2%	2.5%	1.8%	0.4%	1.0%	4.2%

問12 環境に配慮した行動について、次のような意見があります。それぞれについて、あなたのお考えにもっとも近いものを1～4の中から1つ選んで、右枠内の番号に○をつけてください。

	どちらかと いえば そう思う	どちらかと いえば そう思う	どちらかと いえば そう思わない	そうは 思わない	無回答
A 環境に配慮した行動は、手間がかかる	24.1%	54.0%	17.1%	4.0%	0.8%
B 環境に配慮した行動は、時間がかかる	23.0%	52.3%	19.5%	3.9%	1.3%
C 環境に配慮した行動は、お金がかかる	24.1%	44.9%	24.9%	5.1%	1.1%

問13 環境問題について次のような意見があります。それぞれについて、あなたのお考えにもっとも近いものを1～4の中から1つ選んで、右枠内の番号に○をつけてください。

	どちらかと いえば そう思う	どちらかと いえば そう思う	どちらかと いえば そう思わない	そうは 思わない	無回答
A 誰の行動であれ、環境のことを考えた行動は、結局は自分の得につながる	32.1%	52.1%	11.0%	3.2%	1.6%
B 皆が環境のことを考えて行動すれば、環境問題は解決の方向に向かう	40.6%	48.3%	7.7%	2.5%	1.0%
C 自分ひとりが環境のことを考えて行動したところで環境問題の解決にはほとんど役に立たない	15.8%	27.8%	35.4%	20.2%	0.8%
D 多くの人が環境のことを考えて行動しているのであれば、自分一人くらいは、やらなくても良いだろう	2.3%	5.9%	32.3%	58.6%	1.0%

※ nの表示のない設問は 831 人を基数とする。

問 14 地球環境問題に関して次のような意見があります。それぞれについて、あなたのお考えにもっとも近いものを1～5の中から1つ選んで、右枠内の番号に○をつけてください。

	どちらかと いえば そう思う		どちらかと いえば そう思わない		無回答	
	1	2	3	4		
A 世界の人口は地球上で生存できる 限界に近づきつつある	17.3%	25.8%	39.0%	10.8%	5.7%	1.4%
B 人間には、自分たちの要求に合う ように自然環境を改変する権利がある	4.5%	14.7%	28.4%	22.3%	28.2%	2.0%
C 人間が自然に介入すると、悲惨な 結果を生みだすことが多い	19.9%	36.6%	29.6%	8.5%	3.6%	1.8%
D 人間の創意工夫によって、人が地球に 住めなくなるようなことは避けられる	22.3%	43.4%	25.3%	5.3%	2.4%	1.3%
E 人間は環境をひどく損ねている	27.8%	41.8%	24.3%	3.7%	1.0%	1.4%
F 開発の仕方さえわかれば、地球には 十分な天然資源が存在する	15.9%	31.9%	33.6%	12.2%	4.6%	1.9%
G 植物や動物は、人間と同じように 生存権を有している	43.9%	38.3%	11.9%	3.2%	1.3%	1.3%
H 自然には、現代の産業国家の影響にも 対応できるだけの回復力がある	6.3%	18.9%	35.6%	23.0%	14.2%	2.0%
I 人間は特殊な能力を持っているものの依然と して自然の法則に逆らうことはできない	34.9%	36.6%	20.9%	2.8%	2.3%	2.5%
J 人類が直面しているいわゆる環境危機は ひどく誇張されてきた	6.3%	17.2%	32.4%	23.9%	17.6%	2.6%
K 地球というものは、空間と資源が非常に 限られた宇宙船のようなものだ	24.1%	34.8%	29.1%	5.1%	3.9%	3.1%
L 人間は、人間以外の自然界を支配 する定めとなっている	2.3%	8.8%	26.1%	22.0%	38.5%	2.3%
M 自然のバランスは非常に繊細で容易に 崩れてしまう	32.4%	41.5%	17.1%	4.8%	2.2%	2.0%
N 人類はいずれ自然の仕組みを理解し コントロールできるようになるだろう	2.8%	9.5%	33.3%	23.7%	29.1%	1.6%
O このままだとほどなく環境問題に関する 大惨事を経験することになるだろう	26.0%	38.3%	26.5%	4.6%	2.3%	2.4%

※ nの表示のない設問は831人を基数とする。

問15 あなたは、次のような意見をどう思いますか。それぞれについて、あなたのお考えにもっとも近いものを1～4の中から1つ選んで、右枠内の番号に○をつけてください。

	どちらかといえ ば		どちらかといえ ば		そうは 思わない	無回答
	そう 思う	そう 思う	そう 思わない	そう 思わない		
A 他の人がどのように行動するとしても、環境に配慮した行動をするべきだ	30.1%	60.6%	5.8%	1.3%		2.2%
B たとえ手間がかかるとしても、環境に配慮した行動をするべきだ	29.0%	61.3%	6.0%	1.6%		2.2%

問16 あなたは、普段、次にあげるような行動を実行していますか。実行している行動をすべて選んで、番号に○をつけてください。

67.4%	冷暖房を控えめにする	63.4%	生ごみは水気を切ってから捨てる	
88.7%	使っていない場所の電灯を消す	9.5%	生ごみを肥料にする	
27.3%	地域で作ったものを食べるようにしている	12.8%	環境に配慮した洗剤を使う	
9.1%	エコマークがついた商品を購入する	37.9%	鍋や皿などのよごれは洗う前にふき取る	
56.4%	必要のない包装は断る	55.0%	物が壊れても直せるうちは捨てずに修理する	
84.6%	マイバッグなどを持って買い物に行く	32.7%	地域の清掃活動に参加する	
60.0%	水筒やボトルを持参する	3.6%	環境イベントに参加する	
91.8%	ごみのポイ捨てをしない	19.0%	自然の中で過ごす	
4.0%	環境問題に取り組む活動に寄附をする	6.9%	環境対策に積極的な政党や候補者に投票する	
11.1%	食品トレイ包装の野菜はなるべく買わない	13.8%	環境問題について学習する	
21.3%	リサイクルショップやフリーマーケットを利用する	0.7%	その他（ ）	
89.8%	ごみを分別する	0.2%	何もしていない	無回答 3.6%

問17 あなたは、次にあげるような取り組みをしていますか。1～5の中から1つ選んで、右枠内の番号に○をつけてください。

	利用・実行の機会がない				無回答	
	いつも している	ときどき している	あまりして いない	ほとんど していない		
A 公共交通（電車、バスなど）を利用する	24.2%	23.7%	13.6%	19.6%	17.7%	1.2%
B 近い所へは車ではなく徒歩や自転車で行く	35.5%	29.8%	13.4%	15.2%	4.8%	1.3%

問18 あなたのご家庭では、次にあげるようなことを実行したことがありますか。それぞれについて、もっとも近いものを1～4の中から1つ選んで、右枠内の番号に○をつけてください。

	検討予定はない				無回答
	実行した ことがある	現在 検討している	機会があれば 検討したい	検討予定 はない	
A 高効率給湯器の設置	18.2%	3.9%	30.1%	44.3%	3.6%
B 燃料電池車や電気自動車などの環境性能に優れた自動車の購入	7.1%	5.3%	36.2%	48.4%	3.0%

※ nの表示のない設問は831人を基数とする。

問 19 自然と人間との関係について、次のような二つの意見（考え方）があります。あなたはどちららの意見に共感しますか。あなたのお考えにもっとも近いものを1～4の中から1つ選んで、番号に○をつけてください。

- 意見A 人間は自然の一部なのだから、自然と共に生きるべきだ。
 意見B 自然は人間にとっての資源なのだから、有効に利用すべきだ。

28.5% 意見A	43.9% どちらかといえば意見A	20.7% どちらかといえば意見B	3.7% 意見B	無回答 3.1%
-----------	-------------------	-------------------	----------	-------------

問 20 科学技術に関する次の意見について、あなたはどのように考えますか。それぞれについて、あなたのお考えにもっとも近いものを1～4の中から1つ選んで、右枠内の番号に○をつけてください。

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そうは 思わない	無回答
A 科学技術は、人間がコントロール しきれものではない	14.6%	42.6%	29.7%	8.9%	4.2%
B 科学技術の利便性を享受するには、ある 程度リスクを覚悟しなければならない	19.3%	52.3%	18.2%	5.8%	4.5%
C 科学技術の研究開発の方向性は、内容を よく知っている専門家が決めるのがよい	20.5%	45.5%	22.0%	7.9%	4.1%

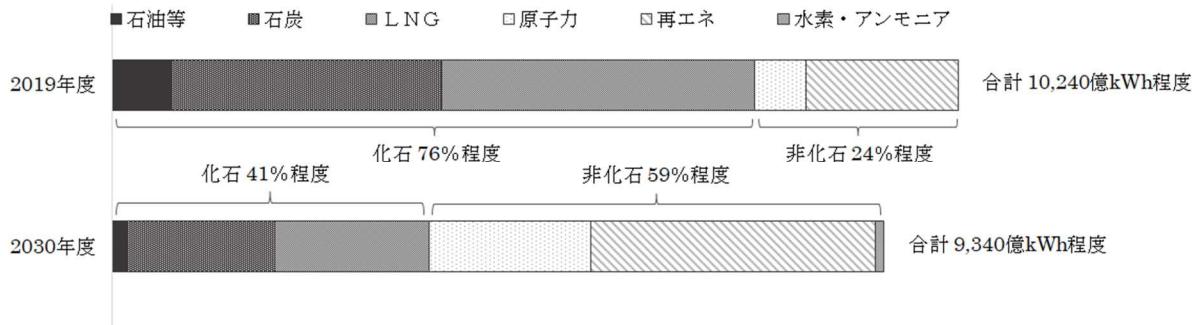
問 21 科学と人間との関係について、次のような二つの意見（考え方）があります。あなたはどちららの意見に共感しますか。あなたのお考えにもっとも近いものを1～4の中から1つ選んで、番号に○をつけてください。

- 意見A 科学が発展すれば、やがて、人間や社会の問題は解決される。
 意見B 科学が発展しても、人間や社会の問題はいつまでも解決できない。

4.6% 意見A	19.3% どちらかといえば意見A	53.5% どちらかといえば意見B	19.1% 意見B	無回答 3.5%
----------	-------------------	-------------------	-----------	-------------

※ nの表示のない設問は831人を基数とする。

問22 日本の電源構成は、図のように、2019年度時点で化石燃料が76%（石油等7%、石炭32%、LNG37%）、非化石燃料が24%（原子力6%、再エネ18%）となっています。また、2030年度には化石燃料が41%（石油等2%、石炭19%、LNG20%）、非化石燃料は59%（原子力20~22%、再エネ36~38%、水素・アンモニア1%）となる見通しです（注：資源エネルギー庁，2021，「2030年度におけるエネルギー需給の見通し」による）。今後、地球温暖化対策を進め化石燃料の使用を減らすことが求められますが、電力をどのようにまかなっていくのがよいと思いませんか。当てはまるものを1~4の中から1つ選んで、番号に○をつけてください。



出典：資源エネルギー庁，2021，「2030年度におけるエネルギー需給の見通し」

34.1%	再生可能エネルギーの割合を最大限、増やしていく	
45.2%	再生可能エネルギーの割合を増やしていく	
8.9%	原子力発電の割合を増やしていく	
3.1%	原子力発電の割合を最大限、増やしていく	無回答 8.7%

問23 日本のエネルギー政策を考える場合、次のような点が重要だといわれています。あなたは、これらの点を、それぞれどのくらい重視すべきだと思いますか。それぞれについて、あなたのお考えにもっとも近いものを1~4の中から1つ選んで、右枠内の番号に○をつけてください。

項目	重視すべき				無回答
	特に重視すべき	重視すべき	ある程度は重視すべき	それほど重視しなくてよい	
A 地球温暖化への影響を抑えること	41.0%	41.6%	13.0%	2.0%	2.3%
B 身近な環境に悪影響がないこと	26.5%	54.5%	15.0%	1.0%	3.0%
C 価格が安いこと	17.8%	38.3%	37.5%	3.4%	3.0%
D 将来世代に負担をかけないこと	34.1%	46.8%	15.4%	1.4%	2.3%
E 高い安全性が確保できること	51.3%	37.3%	8.1%	0.6%	2.8%
F 科学技術の発展や継承に役立つこと	18.2%	44.8%	28.9%	4.5%	3.7%
G 国際情勢に左右されず安定供給できること	37.9%	45.0%	13.5%	1.0%	2.6%

※ nの表示のない設問は831人を基数とする。

問24 原子力発電（原発）について、次のような二つの意見（考え方）があります。あなたはどちらの意見に共感しますか。あなたのお考えにもっとも近いものを1～4の中から1つ選んで、番号に○をつけてください。

意見A 原子力発電はコストが低い。原発を廃止すれば電気料金が高くなる。
 意見B 原子力発電が低コストに見えるのは、事故時の被害を過小評価しているからだ。

10.7% 意見A	34.4% どちらかといえば意見A	33.2% どちらかといえば意見B	14.9% 意見B	無回答 6.7%
-----------	-------------------	-------------------	-----------	-------------

問25 原子力発電（原発）の安全性について、次のような二つの意見（考え方）があります。あなたはどちらの意見に共感しますか。あなたのお考えにもっとも近いものを1～4の中から1つ選んで、番号に○をつけてください。

意見A 福島原発事故の教訓を踏まえた世界一厳しい基準を満たすのだから、今後の原発は安全だ。
 意見B 基準がいくら厳しくても想定外のことは起こりうるので、今後の原発も絶対安全だとは言えない。

2.6% 意見A	7.7% どちらかといえば意見A	40.7% どちらかといえば意見B	45.7% 意見B	無回答 3.2%
----------	------------------	-------------------	-----------	-------------

問26 次のような意見について、あなたはどう思いますか。それぞれについて、あなたのお考えにもっとも近いものを1～4の中から1つ選んで、右枠内の番号に○をつけてください。

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そうは 思わない	無回答
A 権威のある人々にはつねに敬意を はらわなければならない	3.4%	24.8%	39.7%	29.1%	3.0%
B この複雑な世の中で何をなすべきか知る 一番よい方法は指導者や専門家に頼ることだ	4.2%	40.7%	35.7%	16.5%	2.9%
C 以前からなされていたやり方を守ることが 最上の結果を生む	1.1%	10.7%	50.3%	34.2%	3.7%
D お互いが信頼しあうことによって社会は 成り立っている	25.4%	60.4%	8.8%	2.8%	2.6%
E 伝統や習慣に従ったやり方に疑問を持つ 人は、結局は問題を引き起こすことになる	4.7%	17.1%	50.9%	23.6%	3.7%

※ nの表示のない設問は 831 人を基数とする。

問 27 かりに現在の日本の社会全体を 5 つの層に分けるとすれば、あなた自身はこのどれに入ると
 思いますか。

1.4%	上	17.1%	中の上	45.4%	中の下	23.0%	下の上	7.6%	下の下	無回答 5.5%
------	---	-------	-----	-------	-----	-------	-----	------	-----	-------------

問 28 あなたは、現在の自分の生活に満足していますか、それとも満足していませんか。1～4の中
 から1つ選んで、番号に○をつけてください。

14.8%	満足している	
55.6%	どちらかといえば満足している	
20.2%	どちらかといえば不満である	
6.6%	不満である	無回答 2.8%

問 29 一般的にいて、いまの日本の社会は公平だと思いますか、それとも思いませんか。1～4の中
 から1つ選んで、番号に○をつけてください。

1.4%	公平だ	21.7%	だいたい公平だ	51.3%	あまり公平でない	22.5%	公平でない	無回答 3.1%
------	-----	-------	---------	-------	----------	-------	-------	-------------

問 30 あなたは、次のような不公平が今の日本にあると思いますか。それぞれについて、あなたのお
 考えにもっとも近いものを1～4の中から1つ選んで、右枠内の番号に○をつけてください。

	大いにある	ある	あまりない	ない	無回答
A 性別による不公平	15.6%	57.6%	20.5%	3.5%	2.8%
B 世代による不公平	15.8%	54.6%	24.5%	2.2%	2.9%
C 学歴による不公平	19.6%	54.2%	20.3%	2.8%	3.1%
D 職業による不公平	22.0%	56.1%	16.5%	2.3%	3.1%
E 人種・民族・国籍による不公平	16.8%	48.6%	25.8%	4.8%	4.0%
F 地域による不公平	10.8%	43.6%	36.6%	5.5%	3.5%
G 思想・信条による不公平	5.4%	32.1%	48.6%	8.9%	4.9%

※ nの表示のない設問は 831 人を基数とする。

問 31 次のようなことはあなたにどのくらい当てはまりますか。あなたの普段の状況にもっとも近いものを1～4の中から1つ選んで、右枠内の番号に○をつけてください。

	よくしている	ときどきしている	あまりしていない	まったくしていない	無回答
A 自分が住んでいる市区町村の広報を読む	33.9%	39.1%	16.5%	9.1%	1.3%
B 自分が住んでいる市区町村が発信するインターネット上の情報（公式ホームページ、SNS等）を閲覧する	8.1%	26.8%	33.7%	29.8%	1.6%
C 自分が住んでいる都道府県の広報を読む	13.8%	31.4%	32.0%	21.2%	1.6%
D 自分が住んでいる都道府県が発信するインターネット上の情報（公式ホームページ、SNS等）を閲覧する	3.2%	19.5%	40.1%	35.7%	1.4%
E 国が発信するインターネット上の情報（公式ホームページ、SNS等）を閲覧する	1.9%	14.4%	41.4%	40.7%	1.6%
F 新聞を読む	33.3%	19.9%	15.3%	29.8%	1.7%
G 新聞社が発信するインターネット上の情報（公式ホームページ、SNS等）を閲覧する	7.2%	25.3%	28.8%	36.9%	1.8%
H テレビやラジオのニュースを視聴する	60.6%	27.1%	7.0%	4.0%	1.3%
I 放送局が発信するインターネット上の情報（公式ホームページ、SNS等）を閲覧する	9.5%	27.6%	31.9%	29.5%	1.6%
J 専門家や評論家が発信する情報を参考にする	6.3%	34.3%	37.8%	19.9%	1.8%

問 32 あなたは、普通自動車免許をもっていますか。当てはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

85.4%	持っている	無回答 1.3%
4.1%	以前は持っていたが返納した	
8.7%	免許を取得したことがない	
0.5%	その他（ ）	

問 33 現在のお住まいは次のどれにあたりますか。当てはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

76.5%	持ち家（一戸建て）	13.5%	賃貸住宅（集合住宅）	- %	高齢者施設
3.1%	持ち家（集合住宅）	0.6%	社宅・官舎・寮	0.5%	その他（ ）
3.4%	賃貸住宅（一戸建て）	0.1%	シェアハウス		無回答 2.3%

※ nの表示のない設問は831人を基数とする。

問 34 あなたの性別とお生まれの年月、満年齢をお答えください。元号（昭和、平成）または西暦の番号にも○をつけてください。

50.2% 男 49.8% 女	1 昭和	年	月	生	歳
	2 平成				
	3 西暦				

10 歳代	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
1.9%	10.0%	12.0%	16.8%	18.9%	19.5%	20.8%

問 35 現在いっしょに住んでいる方を、次の中からすべて選んで、番号に○をつけてください。一人暮らしの場合は、番号1に○をつけてください。

9.5%	一人暮らし	0.7%	配偶者の祖父母	無回答 3.1%
61.7%	あなたの夫・妻（内縁も含む）	7.8%	あなたの兄弟姉妹	
39.5%	あなたの子ども	0.5%	配偶者の兄弟姉妹	
13.4%	あなたのお父さん	2.3%	あなたの子どもの夫・妻	
19.9%	あなたのお母さん	3.5%	あなたの孫	
1.4%	あなたのお義父さん	0.2%	友人・知人	
3.1%	あなたのお義母さん	1.1%	パートナー、恋人	
2.0%	あなたの祖父母	0.4%	その他（具体的に：)	

問 36 あなたは普段、現在お住まいの家族全員が行っている家事の何割くらいを担当していますか。まったくしていない場合を0（ゼロ）割、すべて実行している場合を10割として、以下の空欄に0から10までの数字をご記入ください。

	割くらい
--	------

0割	1割	2割	3割	4割	5割	6割	7割	8割	9割	10割	無回答
2.9%	11.8%	9.7%	10.8%	5.2%	11.1%	4.1%	5.1%	7.8%	8.8%	19.9%	2.8%

問 37 あなたが最後に在籍していた学校（中退も含む）は次の中のどれですか。当てはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。現在学生の方は、在籍中の学校をお答えください。

0.1%	小学校	無回答 2.8%
5.2%	中学校	
36.9%	高等学校・中等教育学校（中高一貫校）	
12.6%	専門学校（高等学校・中等教育学校を卒業後入学したもの）	
8.8%	短期大学・高等専門学校	
30.6%	大学	
2.5%	大学院	
0.5%	その他（具体的に：)	

※ nの表示のない設問は831人を基数とする。

問 38 あなたご自身の現在のお仕事は大きく分けてどれにあたりますか。当てはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

11.1% 家事専業 (収入を伴う仕事をしていない方)	17.3% パート、アルバイト、内職、臨時雇用	無回答 3.2%
4.3% 生徒、学生	3.9% 派遣社員、契約社員	
12.6% 無職 (家事専業や生徒、学生以外)	37.2% 常勤の会社員、公務員、団体職員など	
	6.4% 自営業主または家族従業者	
	3.4% 経営者、役員 (自営業主と家族従業者は除く)	
	0.6% その他 (具体的に:)	

↓
**1~3 を選ばれた方は問 40 に
移動してください**

**4~9 を選ばれた方は次の
質問に回答してください**

問 39 あなたは、現在、従業先でどのような仕事をしておられますか。当てはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。 n = 571

1.8% 農林水産業 (ただし、第二種兼業や農産物加工・水産物加工は含まない)	無回答 3.0%
16.6% 庶務・人事・経理などの事務的職業	
18.0% 店員、小売業、卸し、不動産仲介、保険外交、旅行ガイドなどの販売的職業	
28.4% 工場作業員、理容師、調理師、運転手、建設作業員などの熟練・労務的職業	
20.1% 医師・弁護士・教師・技術者など専門的知識を要する専門的職業	
6.1% 企業・官公庁における課長職以上の管理的職業	
6.0% その他 (具体的に:)	

問 40 あなたご自身が今までに就いた主なお仕事は大きく分けてどれにあたりますか。当てはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。問 38 と同じ場合、同じ選択肢を選んでください。

3.1% 家事専業 (収入を伴う仕事をしていない方)	13.8% パート、アルバイト、内職、臨時雇用	無回答 11.6%
4.0% 生徒、学生	4.1% 派遣社員、契約社員	
1.7% 無職 (家事専業や生徒、学生以外)	52.1% 常勤の会社員、公務員、団体職員など	
	6.0% 自営業主または家族従業者	
	2.2% 経営者、役員 (自営業主と家族従業者は除く)	
	1.4% その他 (具体的に:)	

↓
**1~3 を選ばれた方は問 42 に
移動してください**

問 41 あなたは、今までに就いた主なお仕事の従業先でどのような仕事をしておられましたか。当てはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。問 39 と同じ場合、同じ選択肢を選んでください。 n = 662

1.4% 農林水産業 (ただし、第二種兼業や農産物加工・水産物加工は含まない)	無回答 2.6%
18.4% 庶務・人事・経理などの事務的職業	
21.5% 店員、小売業、卸し、不動産仲介、保険外交、旅行ガイドなどの販売的職業	
27.2% 工場作業員、理容師、調理師、運転手、建設作業員などの熟練・労務的職業	
19.6% 医師・弁護士・教師・技術者など専門的知識を要する専門的職業	
6.6% 企業・官公庁・団体などにおける課長職以上の管理的職業	
2.7% その他 (具体的に:)	

※ nの表示のない設問は831人を基数とする。

問42 あなたと、あなたの世帯の昨年（2023年）1年間の収入（年収）はどのくらいでしたか。それぞれ、下の表から1つ選んで、下の枠内に番号を記入してください。

あなた自身

1=25.3%	2=8.9%	3=14.3%
4=11.1%	5=9.3%	6=4.7%
7=5.5%	8=2.8%	9=2.0%
無回答=16.1%		

あなたの世帯

1=3.2%	2=5.2%	3=8.2%
4=8.9%	5=9.9%	6=9.0%
7=11.4%	8=8.8%	9=11.3%
無回答=24.1%		

1	130万円未満	6	500万円以上 600万円未満
2	130万円以上 200万円未満	7	600万円以上 800万円未満
3	200万円以上 300万円未満	8	800万円以上 1000万円未満
4	300万円以上 400万円未満	9	1000万円以上
5	400万円以上 500万円未満		

これで質問は終わりです。長い間、めんどろな質問にお答えいただき、誠にありがとうございました。たいへん恐縮ですが、はじめに戻って、記入漏れや書き間違いがないかどうか、ご確認をお願いいたします。

皆さまからいただいたお答えは、貴重な資料として活用させていただきます。なお、この調査についてのご意見やご感想、環境問題などに関するご意見などを、以下にご記入いただければ幸いです。書ききれない場合は、余白や別紙にお書きください。

記入あり 17.2%